

岬町雨天時侵入水対策調査
業務委託

一般仕様書

令和 7 年 9 月

岬町 都市整備部 下水道課

総則

1 - 1 業務の目的

本委託業務（以下業務という。）は、本仕様書にもとづいて、委託対象地域の調査を実施し、解析・報告書等の作成を行うことを目的とする。

1 - 2 一般仕様書の適用

業務は、本仕様書及び設計書に従い施行しなければならない。ただし、特別な仕様については、特記仕様書に従い施行する。

1 - 3 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受注者の負担とする。

1 - 4 法令等の遵守

受託者は、業務の実施にあたり、関連する法令等を遵守しなければならない。

1 - 5 中立性の保持

受託者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するように努めなければならない。

1 - 6 秘密の保持

受託者は、業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

1 - 7 許可申請

- (1) 受託者は、必要な許可申請書（占用許可等）に関する事務を、監督員と打ち合わせの上、迅速に処理しなければならない。
- (2) 関係官公庁または、施設管理者による許可条件及び施行条件は、設計業務に反映しなければならない。

1 - 8 提出書類

- (1) 業務の着手及び完了にあたって、本町の定める所定の様式により、諸届けを提出しなければならない。なお、承認された事項を変更しようとするときは、そのつど承認を受けるものとする。
- (2) 提出を要する書類は、下記のとおりである。部数については変更することがある。

(a) 着手時

- | | |
|---------------------------|-----|
| ● 着手届 | 1 部 |
| ● 管理技術者届及び経歴書 | 1 部 |
| ● 照査技術者届及び経歴書 | 1 部 |
| ● 管理及び照査技術者の資格者証の写、雇用証明の写 | 1 部 |
| ● 業務計画書 | 1 部 |
| ● 業務工程表 | 1 部 |
| ● 職務分担表（必要に応じて） | 1 部 |

(b) 完了時

- | | |
|------------|-----|
| ● 完了届 | 1 部 |
| ● 納品書（引渡書） | 1 部 |
| ● 請求書 | 1 部 |
| ● 成果品 | 1 式 |

1－9 管理技術者および技術者

- (1) 受託者は、管理技術者及び技術者をもって、秩序正しい業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。
- (2) 管理技術者は、総合技術監理部門技術士（下水道）、技術士（下水道）又は下水道法に規定された資格を有するものとし、業務全般にわたり技術的監理を行わなければならない。
- (3) 受託者は遺漏なき照査を実施するために、相当な技術経験を有する照査技術者を配置しなければならない。また、照査技術者は管理技術者と兼任することはできない。
- (4) 受託者は、業務の進捗をはかるため、十分な数の技術者を配置しなければならない。
- (5) 受託者は、屋外における調査業務等に際しては、使用人等に適宜、安全対策、環境対策、衛生管理、地元関係者に対する応対等の指導及び教育を行うとともに、業務が適正に遂行されるよう管理及び監督しなければならない。

1－10 工程管理

- (1) 受託者は、現行の実施工程表に変更が生じ、その内容が重要な場合には、その都度変更した実施工程表を提出し、監督員の承認を得なければならない。
- (2) 実施工程表について監督員が特に指示した場合には、更に細部の実施工程表を提出し、監督員の承認を得なければならない。
- (3) 特に時期の定められた箇所については、監督員と事前に協議し、工程の調整を図ること。
- (4) 業務の着手前に業務計画書を提出し、監督員の承認を得ること。

1－11 付近居住者との交渉

受託者は、付近居住者と交渉を必要とするとき、また、交渉を受けたときは、誠意を持って解決を図り、解決後は遅滞なく、本町監督員に報告しなければならない。

1－12 審査

- (1) 受託者は、業務完了時に発注者の審査を受けなければならない。
- (2) 審査において、訂正を指示された箇所はただちに訂正しなければならない。
- (3) 業務完了後において、明らかに受託者の責めに伴う業務のかしが発見された場合、発注者の指示により、受託者はただちに当該業務の修正を行わなければならない。

1－13 引渡し

業務の審査に合格後、本仕様書に指定された提出図書一式を納品し、本町検査員の検査の合格をもって、業務の完了とする。

1－14 証明書の交付

必要な証明書及び申請書の交付は、受託者の申請による。

1－15 疑義

本仕様書及び設計図書に明記のない場合又は、疑惑を生じた場合は、双方協議して定める。

第2章 調査

2－1 現地踏査

- (1) 調査対象地域を踏査し、現地を十分に把握しなければならない。
- (2) 街路毎の地上写真を撮影し、位置図と共に整理すること。

2-2 渉外事務

受託者は、調査、設計上必要な渉外事務を行わなければならない。ただし、受託者の責任において解決できない場合は、監督員と協議する。なお、渉外事務の記録は詳細に明記し、随時報告すると共に業務完了時に提出しなければならない。

第3章 業務一般

3-1 一般的事項

- (1) 業務は、監督員と十分協議打ち合わせの後、施行しなければならない。
- (2) 管理技術者は、主要な打ち合わせには必ず出席しなければならない。
- (3) 打ち合わせには議事録をとり、内容を明確にして、その都度本町監督員に提出し、確認を受けなければならない。

3-2 設計基準等

本仕様書第5章「準拠すべき図書」に基づき、業務を行わなければならない。

3-3 業務の資料

業務上の根拠、資料等はすべて明確にし、整理して提出しなければならない。

3-4 参考文献等の明記

業務に文献その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記し、その写書を提出しなければならない。

第4章 照 査

4-1 照査の目的

受託者は業務を施行する上で、技術資料等の諸情報を活用し、十分な比較検討を行うことにより、業務の高い質を確保することに努めるとともに、さらに照査を実施し、設計図書に誤りがないよう努めなければならない。

4-2 照査の確認

受託者は照査業務の確認の為に報告書及び確認を行った成果品を提出すること。

第5章 準拠すべき図書

5-1 準拠すべき図書

(1) 業務は、下記に掲げる図書に準拠して行うものとする。これら以外の図書に準拠する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けなければならない。

- 1 下水道維持管理指針 管路施設編（公益社団法人 日本下水道協会）
- 2 不明水対策の手引き（公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会）